

Market Report

2024年8月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

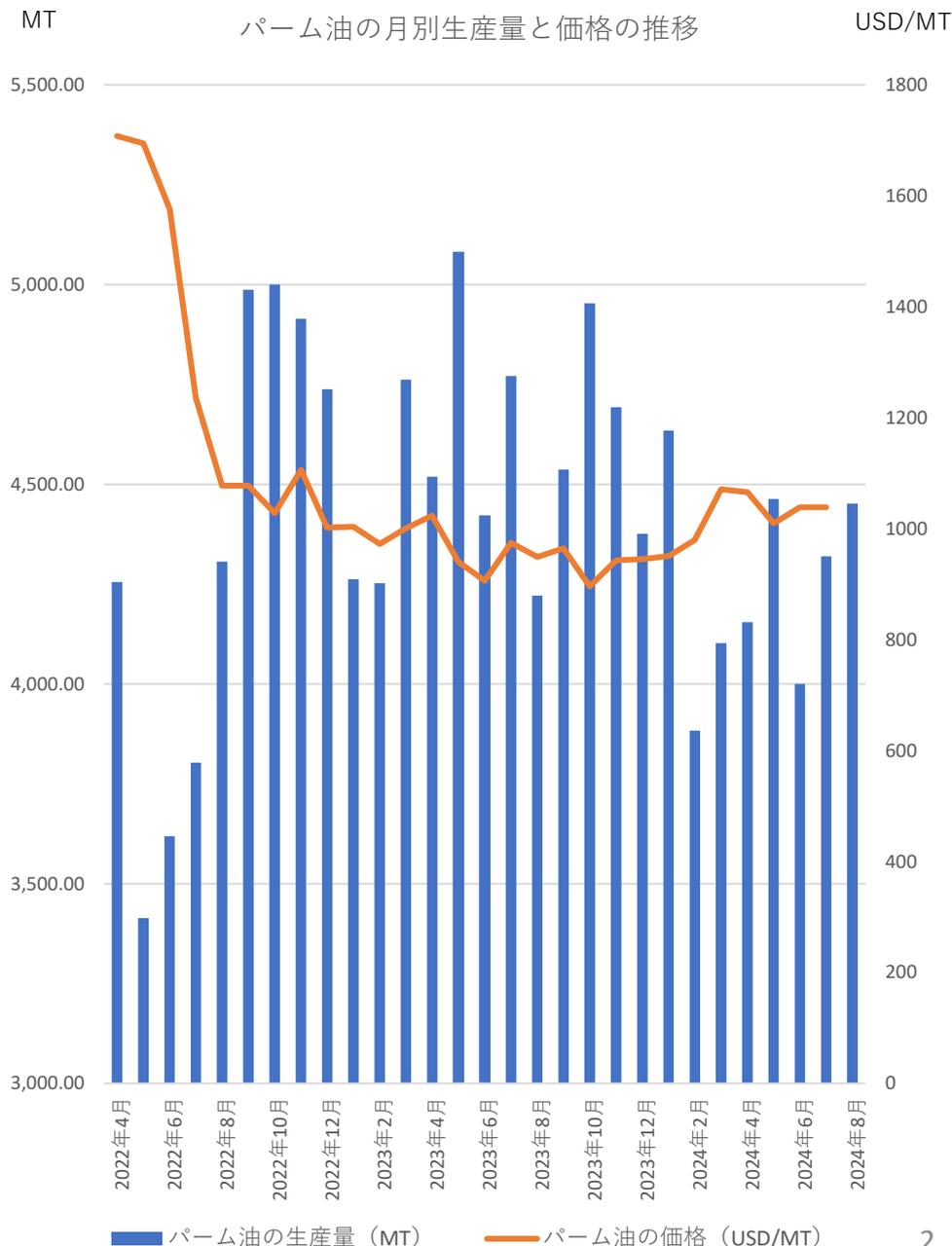
1. 実績

2024年7月のインドネシア国内のFFBの最高価格は、西スマトラ州で3,057Rp/kg、最低価格は南、東スラウェシ州で、2,100Rp/kgであった。

CPOの平均価格は2024年7月の12,904 Rp/kgと比較して2024年6月は12,687 Rp/kgとなり、206 Rp/kg（前月比で約2%）下落した。また、2023年7月のCPO平均価格11,014 Rp/kgと比較すると、1,889 Rp/kg（前年比で約17%）上昇した。

2. 見通し

雨期の始まりが7月の末とBMKG（気象気候地球物理庁）は予想しており、8月のFFBとCPOの生産量が減少すると推定される。その結果、これまで上昇していたCPO価格が、8月以降も価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年6月のインドネシアのPKS輸出量は、342,973トンとなり、5月の輸出量326,815トンと比較すると16,158トン（前月比で約5%）の増加となった。

前年2023年6月のPKS輸出量435,283トンと比較すると、2024年6月の輸出量は92,310トン（前年比で約20%）減少した。2024年6月のPKS輸出額はUSD39,802,860を記録した。

2024年6月最大の輸出先は日本であり、輸出量は324,424トン、外貨換算額は37,923,239 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約90%を占める）日本への輸出量が5月の輸出量305,244トンと比較すると19,180トン（前月比で約6%）の増加となった。

2. 見通し

乾季のピークを7月に迎え、これから雨期へと入っていくと予想されるため、8月のFFBとCPOの生産量が減少すると推定される。その結果、これまで減少傾向だったPKSの価格が上昇に転じる可能性がある。

